

事業者名	奈良県									
機器名	三次元形状評価装置									
写真										
特徴・用途	三次元形状評価装置は、測定物表面上の空間座標を安定したタッチ信号式のプロービングシステムによって決定し、測定物の形状を立体的に計測することが可能となっている。									
設置場所	奈良県産業振興総合センター 本館1階 精密測定室									
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)	
					件数(件)	時間(時間)				
	平成29年2月	4	0	0	0	0	4	0	4	
	平成29年3月	4	0	1	0	0	3	0	4	
	平成29年4月	9	0	1	1	1	6	1	9	
	平成29年5月	3	0	1	0	0	2	0	3	
	平成29年6月	7	0	0	3	20	1	3	7	
	平成29年7月	3	0	0	0	8	1	1	3	
	平成29年8月	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平成29年9月	7	0	1	3	5	0	3	7	
	平成29年10月	11	0	1	3	10	4	3	11	
	平成29年11月	3	0	0	0	3	1	1	3	
	平成29年12月	2	0	0	0	1	1	0	1	2
	平成30年1月	10	0	0	0	17	2	4	10	
	平成30年2月	4	0	0	0	6	2	1	4	
平成30年3月	6	0	0	0	11	0	3	6		
利用者等の声	<p>① 精密な金型をサブミクロン単位で寸法測定することができた。</p> <p>② プーリーの軸に対する偏心度を評価することができた。</p> <p>③ 自動測定により、試験体の数が多い場合であっても迅速に測定することができた。</p> <p>④ 先端のプローブ部分にカメラを搭載し、非接触で大きな範囲を測定できればなお良い。</p>									
補助事業概要 の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-051koho.pdf									